

セルフクリーンプログラム 音声セミナー

チャバネゴキブリ駆除 編

太 田 有 彌

サン コーポレーション

第一回セミナー

セミナーの目的 1

どうすれば駆除できるか？ 本当に駆除できる？ 2

おまけの話 2

～ セルフクレンジングプログラムの基本方針 ～ 3

～ 基礎知識・駆除の基本 ～ 4

3つの決め手 4

セルフクレンジングプログラムの効果 5

駆除の絶対条件 6

駆除方法について 7

重要な知識（生息条件・ボックス理論・ローチスポット・抵抗性）について 8

なぜチャバネゴキブリの駆除か？ 9

発生・営巣の原因・理由（最大要因） 9

発生・増殖のメカニズム 11

第二回セミナー

薬剤に対する安全対策について（重要・不可欠） 12

駆除に関する法令について 17

駆除の意味・価値と根拠 18

第三回セミナー

～ 駆除の手順 ～ 20

1. 手順の基本的な考え方 20

2. 作業手順 21

第四回セミナー

～ 駆除の技術 ～ 24

1. 調査と結果判別の方法 24
 - 1) 生息状況 24
 - 2) 5S 実施状況 28
 - 3) 構造状態 31

第五回セミナー

2. 調査結果に基づく対処・改善方法 32
 - 1) 駆除方法 32
 - ① 噴霧処理 32
 - ② 散布処理 34
 - ③ ベイト剤処理 38
 - 2) 5S 対策 40
 - 3) 構造に課題のある場所の改善方法 40

第六回セミナー

～ 駆除作業実施 ～ 41

- A 駆除を成功させるために！ 42
- B 店舗構造の重要性について 43
- ※ 店舗構造と防虫防そ（防除） 44
- 要 諦 47
- C 究極の駆除方法 48
- ※ 理想的な防除管理 48
- D これから店舗を創る方へ 49

～ 本テキストの使い方 ～ 51

【 第一回音声セミナー 】

セミナーの目的

- ご自分で駆除したい方
のために
- 「実践的」で「効果的」な知識・技術
のご提供

どうすれば駆除できるか？

本当に駆除できる？

決め手は3つ

1. 大掃除 + 整理整頓 + 薬剤処理 (+ 構造改善)
2. 計画的
3. 徹底的

おまけの話・副効果

1. 厨房、バックヤード、店内が清潔・きれいになる
2. 業務・オペレーションが改善
3. 快適環境が業績を改善・向上

セルフクレンジングプログラムの 基本方針

- 「実践的」・「効果的」を優先
- 駆除に必要なもの限定のご説明

～ 基礎知識・駆除の基本 ～

3つの決め手

1. 大掃除 + 整理整頓 + 薬剤処理(+ 構造改善)
2. 計画的
3. 徹底的

これがすべて

セルフクレンジングプログラムの効果

- 「3つの決め手」の**確実な実施**で駆除し切る
- 大量・多数生息している場合は、**必ず激減**する
 - 作業の精度が多少粗くても大幅に減る

注意点

- 「3つの決め手」の**実施が不十分**
 - ⇒ 駆除し切れないことがよくある
 - ⇒ 対策 : **じっくり・確実・徹底的**
- **抵抗性が強い場合**
 - ⇒ 駆除に時間・期間を要することが多い
 - ⇒ 対策 : **清掃と洗浄（「3つの決め手」）の徹底**

駆除の絶対条件

「3つの決め手」の核心部分

- 清掃、整理・整頓、構造改善
- 薬剤措置

駆除方法について

3つの方法

1. 環境的駆除

「生息できる環境」の除去

- 「清掃」・「清潔」・「整理」・「整頓」が基本
- セルフクレンジングプログラムの前提

2. 化学的駆除

- 薬剤による方法（殺虫）

3. 物理的駆除

- 捕獲などの方法
- トラップによる捕獲（ゴキブリホイホイなど）

参考 生物的駆除

- 天敵を使用した駆除法
- 非現実的

重要な知識

生息条件・ボックス理論・ローチスポット・抵抗性

● 生息条件（ゴキブリが生きられる場所の条件）

- 「暖かい」・「水気がある」・「空気がある」・
「ゴミがある」・「狭い」・「暗い」

● ボックス理論

- 施設設備の角・隅の裏側に薬剤を処置するという理論
- 駆除する上で大変重要で役に立つ理論

● ローチスポット

- ゴキブリの糞や死骸の固まり、こびり付き、点々の汚れ
- 独特の臭気を放つ
- フェロモンを発する
- 仲間を誘引、仲間の成長を促進する

● 抵抗性

- 昆虫等生物が薬剤の影響を受けない性質
- 抵抗性が強いほど殺虫剤の効き目が弱くなる

なぜチャバネゴキブリの駆除か？

- チャバネゴキブリは、熱帯産
 - 寒さには極めて弱く、暖かさが営巢の絶対条件
 - 屋外に巢を作れない
 - そのため飲食店の厨房などに多い
- ※ クロゴキブリの駆除は
要点・要領が異なり、ここでは扱いません。

☆ 発生・営巢の原因・理由（最大要因）

- ゴミ溜まり・汚れの放置
- 営巢可能場所の存在

➤ なぜゴミが溜まり・汚れが放置されるか？

- 掃除できない、困難、する気になれない構造



- 整理・整頓・清掃する時間がない

- 整理・整頓・清掃は重要でないという考え方

➤ なぜ構造的に営巣可能な場所があるのか？

- 無用な隙間のある構造

- 清掃や洗浄のできない場所のある構造の店舗造りをしたため

発生・増殖のメカニズム

1. ゴミが溜まる
2. ゴミの中にチャバネゴキブリが持ち込まれる
3. ゴミの中に巣（コロニー）を作る
4. 放置により増える
5. 間違った薬剤処理で巣が広がる
6. 大量・多数に増える
7. ローチスポットの生成 同時進行
8. ますます増える

【 第二回音声セミナー 】

薬剤に対する安全対策について(重要・不可欠)

噴霧（スプレー）作業、散布作業の安全対策

1. 作業者の安全対策

1) 作業前

- ① ゴム（ビニール）手袋
- ② ゴーグル
- ③ 防護マスク
- ④ 帽子
- ⑤ 作業着

2) 作業中

- ① 換気
- ② 殺虫スプレーは引火性、火気厳禁

3) 作業後

- ① 目の洗浄
- ② うがい
- ③ 洗顔・洗髪
- ④ 着衣の洗濯

4) 安全対策のコツ

① 事前に

用具を並べておく

② 作業中

i. 換気

ii. 消火

③ 作業後

i. 「手」の洗浄時に、

ii. 必ず、「目」と「口」・「のど」・「顔」を
同時に洗浄する

④ 用具はインターネットで購入

2. 什器・備品・食材の安全対策

1) 十分な換気



2) 手・口に触れる場所・物（棚・食器・器具など）

⇒ 薬剤処理後、十分清掃・洗浄

3) 洗えないもの、食材

⇒ 事前に取り出し、別所に保管

⇒ この時、チャバネゴキブリに注意

4) 食材への薬剤スプレーや散布は厳禁

！ 嚴重注意 ！ 【 食材損失要因 】

● 活魚などの水槽付近でのスプレー

ゴキジェットプロなど【ピレスロイド剤】の使用時

⇒ 薬剤が大量に水槽に溶け込むと魚介類が死ぬ

⇒ 対策

➤ エアポンプの停止

➤ 水槽をビニールで覆う

➤ 他、ピレスロイド剤の水中への溶け込み防止策

3. お客様・スタッフの安全対策

1) ホテル・旅館、不特定多数のお客様のいる大規模な施設

⇒ 事前に周知徹底（法的規定による義務）

2) 客席（長椅子の隙間やソファの下など）

⇒ 作業中の十分な換気

⇒ 作業後も十分な時間の換気を継続

⇒ お客様の触れる場所への薬剤処理後は十分ふき取る

4. 薬剤と駆除用器具の安全管理

1) 薬剤は鍵のかかる収納庫に保管する

2) 駆除用器具は使用后、洗浄し保管する

駆除に関する法令について

- 殺虫剤の安全使用

⇒ 医薬品・医薬部外品と毒劇物と危険物などについての諸法令

- 衛生環境維持

⇒ 建築物環境衛生制度に関する法令

< 法令の重要なポイント >

- 殺虫剤の安全使用

⇒ 許可された薬剤の使用

【 ポジティブリスト制度 】

- 衛生環境維持

⇒ その場所への出入者の安全のための薬剤の取扱注意

⇒ ホテル・旅館など大規模施設での作業の事前の周知徹底

⇒ 計画的・定期的な生息調査点検の実施と調査結果に基づき、

駆除の実施

など、が定められています。

駆除の意味・価値と根拠

- 意味と価値

1. 業務改善（コスト削減）の絶好の機会

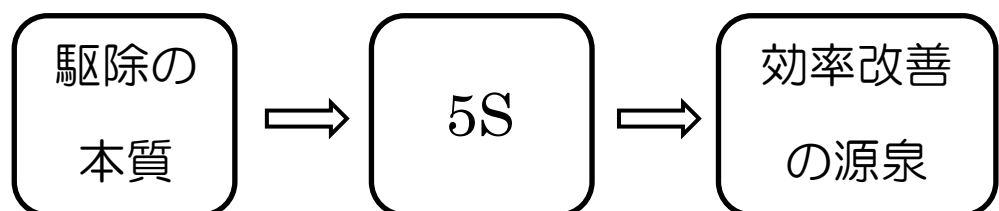
2. 売上・利益・業績向上への大改革の契機

- 根拠

1. 駆除の本質は

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰【しつけ】）

2. 5S はオペレーション効率改善の源泉



< ポイント > 5Sの実現は**意識が決定**

1. 整理・整頓（無理・無駄・ムラの除去）

- 「何が」・「どこに」・「どれだけ」あるか明瞭
 - 1) オペレーションの効率化
 - 2) 棚卸作業の迅速化
 - 3) 経費削減(無駄な発注・在庫不足の解消・人件費の低減)
 - 4) ゆとり・時間ができる
- 精神衛生の健全化
- モチベーションの高揚
- 「ひらめき」の活性化
- 営業力の強化 ⇒ 売上・利益の向上

2. 清掃・清潔（良好な衛生環境・快適環境）

- リスク管理（食中毒・異物混入の防止）の向上
- 安全・安心の創造
- 気分よく、効率的な環境
- 営業力の強化 ⇒ 売上・利益の向上

3. 道具・機械の長寿命化

- 経費（修繕費・新規購入費）削減

【 第三回音声セミナー 】

～ 駆除の手順 ～

1. 手順の基本的な考え方

- PDCA の実行による改善の継続です。

P ⇒ Plan : 作業内容、日程スケジュール、担当者、確認者などの取り決め、計画策定

D ⇒ Do : 実行

C ⇒ Check : 結果の確認・計画の修正

A ⇒ Action : 修正計画の実行（改善）

2. 作業手順

1) 事前調査、調査結果判別（現状・実態の把握・確認）

- i. 生息状況（目視・聴取・捕獲・フラッシング）
- ii. 5S 管理状況
- iii. 構造状態（隙間・無用な開口部の有無）

2) 駆除作業内容・日程策定

- 策定のポイント
 - i. 実施日間隔は 2 週間
 - ii. 生息状況調査結果を参考に立案

● 作業の流れの大枠（重要）

- i. 生息場所・生息数の確認
- ii. 客席・客室・トイレ・バックヤードを優先して駆除
- iii. ほとんど見かけなくなったら、
 - a) 厨房への出入り口を噴霧し、チャバネゴキブリを厨房に閉じ込め
 - b) 天井付近の上部から
 - c) 棚、台
 - d) それらと壁の隙間
 - e) 機器の機械内部
 - f) 機器にある隙間
 - g) 機器下床上
 - h) 壁などの隙間の順で、部屋の上から下へ駆除

● 作業時注意ポイント

- 機械内基盤そのものには噴霧・散布しない！

故障の原因！

- 機械のあらゆる隙間の徹底的薬剤処理

- 清掃・洗浄の徹底

☆ 抵抗性が強いほど

⇒ 徹底した清掃洗浄が極めて重要！

- 構造改善（必要に応じて）

☆ 腐食、板材などのはがれ、木枠と壁の隙間

⇒ コーキング、アルミテープ、ビニルテープ等

で塞ぐ

☆ 可能な限り徹底的に密閉・閉鎖する

【 第四回音声セミナー 】

～ 駆除の技術 ～

1. 調査と結果判別の方法

調査項目：1) 生息状況、2) 5S 実施状況、3) 構造状態

1) 生息状況

- チャバネゴキブリの数量・場所を調査

- 方法

① 目視

室内・機器下など目で見て調査

② 聴取

現場のスタッフに尋ねて調査

③ 捕獲

トラップを仕掛け、捕獲状況を確認

仕掛ける場所

⇒ 多く見かける場所、機器下や機器裏・機器機械部など

④ 結果判別の目安（おおよその基準）

⇒ 調査表により判断

調査表の見方

● 調査表は、落ち着いてじっくり見て下さい

※ 駆除して「いる場合」と、「いない場合」では判断が異なる

※ ゴキブリ指数（調査分析手法）については、時系列で記録・分析する必要がある上、かなり専門的ですので、ここでは扱いません

言葉・記号の意味

● 調査方法

①【目視】、②【聴取】、③【捕獲】

● 現在駆除

④【していない】：業者等が駆除管理していない場合の結果判断

⑤【している】：駆除管理している場合の結果判断

- 判別（可能性の高い生息状況）

◇ 数

⑥【多】：生息多数

⑦【少】：生息少数

⑧【少(多)】：生息少数の場合が多いが、
生息多数の場合もある

⑨【0】：生息なし

◇ 場所

⑩【一部】：部分的に生息

⑪【散在】：散在または全体的に生息

⑫【一部(散在)】：部分的に生息の場合が多いが、
全体的に散っている可能性もある

⑬【一】：生息はまずない

（ただし、外部持込・侵入の危険性はある）

調査表	調査方法【目視・聴取・捕獲】 生息あり「●」・なし「0」			現在 駆除	判別（可能性の 高い生息状況）		判別（判断）
	①目視	②聴取	③捕獲		数	場所	
結果	●	●	●	④して いない	⑥多	⑩一部	全体的に多い傾向 少ない場合が多いが、 全体的に生息の可能性
				⑤して いる	⑧ 少(多)	⑪散在	
	●	●	0	④して いない	⑧ 少(多)	⑫ 一部 (散在)	部分的に多数の場合あり 少なく、部分的 の場合が多い
				⑤して いる			
	●	0	●	④して いない	⑧ 少(多)	⑫ 一部 (散在)	部分的に多数の場合あり 少なく、部分的 の場合が多い
				⑤して いる			
	●	0	0	④して いない	⑦少	⑫ 一部 (散在)	少なく、部分的 の場合が多い
	⑤して いる						
	0	●	●	④して いない	⑧ 少(多)	⑫ 一部 (散在)	部分的に多数の場合あり 少なく、部分的 の場合が多い
⑤して いる							
0	●	0	④して いない	⑦少	⑫ 一部 (散在)	少なく、部分的 の場合が多い	
⑤して いる							
0	0	●	④して いない	⑦少	⑫ 一部 (散在)	少なく、部分的 の場合が多い	
⑤して いる							
0	0	0	④して いない	⑨ 0	⑬ —	営業生息の可能性は ほとんどない	
⑤して いる							

2) 5S 実施状況

① 整理・整頓

i. 目的

a) 無駄・不足の解消

b) 迅速・快適な作業環境づくり

最大のメリット（繁盛・繁栄・発展に必須の要素）

c) 時間・人件費の削減

ii. 対象品目

a) 食材、消耗品等諸材料、衣類

b) 食器、調理器具

c) 石鹼、洗剤、除菌漂白剤

d) 清掃用具、修繕補修用具

iii. 管理項目

a) 保管場所が明瞭

b) 取り出しが容易

c) 在庫数・種類の把握が容易

② 清掃・清潔

i. 定期的な清掃・洗浄・除菌の実施

ii. 清掃・清潔のポイント

a) 清掃用具・専用保管場所の整備

➤ 清掃し易く整然と保管

b) ゴミ、汚れがない

c) 廃棄物が蓋のあるプラスチック容器に整然と保管されている

d) 食材に直接・間接に触れるものが衛生的に除菌されている

③ 躰（しつけ）

i. 整理・整頓・清掃・清潔など営業に必要なオペレーションが確実に実施できるように、スタッフ教育がしっかりできているか

ii. 躰のポイント

a) 教育の仕組み

b) 良好な対人関係づくりのための人間心理の動きについての学習

c) 何を、何のために、いつまでに、どのように行うか？の教育

d) スタッフ各人のモチベーションの高揚支援

3) 構造状態

① 隙間の有無

- ゴミを落とさず、散らかさずに済む構造

② 清掃のしやすさ

- いかにか清掃の手間・ひま・人手を省けるか

【 第五回音声セミナー 】

2. 調査結果に基づく対処・改善方法

1) 駆除方法

① 噴霧処理

i. 噴霧処理について

a) フラッシング調査兼殺虫

- ピレスロイド剤の軽い噴霧
- 追い出し生息調査
- 出てきたチャバネゴキブリに十分な量を噴霧・殺虫

b) フラッシング

- ゴキブリがピレスロイド剤を嫌う性質を活用し
- 潜んでいるものを追い出して、生息を確認

ii. 処理方法

a) 3つの調査による生息確認場所を中心にフラッシング調査

b) 出没のあった場所・エリアは徹底的に噴霧殺虫

c) 生息している隙間の中にできるだけ近づけて噴霧



iii. 噴霧剤について

- a) このセルフクリーンプログラムでは、イミプロトリン剤（ピレスロイド剤／ゴキジェットプロやゴキブリダブルジェットなど）の使用を前提としています
- b) ピレスロイド剤の他には、カーバメイト剤（ノビマックス）がよく用いられています

iv. 噴霧剤の効果の特徴

- a) 即効性
- b) ノックダウン効果
ピレスロイド剤の気絶（ノックダウン）させる効果
※ 死んではいないので要注意

v. 噴霧剤の使用量

- a) 特に第一回目は、スプレーを概ね 10 本～20 本（10～20 坪の厨房の場合）使用、さらに大量に使用する場合もある

- b) 効果上・安全対策上、ポイントを絞った薬剤の使用が重要



写真では手袋を着用していません。実際にはゴム手袋、エンボス手袋などを着用してください。

② 散布処理

i. 散処理について

散布剤を床上などに撒き薬剤に接触させて殺虫する方法

ii. 処理方法

- a) 噴霧後、20分程度後に散布する(薬剤の効果をもとめるため)
- b) 殺虫したい場所をアイロンスプレーで散布剤を十分に濡らし、湿らせる
- c) 噴霧した場所の機器下の床上、機器下の奥の壁と床の交わり部、床上の配管部、機器折返しの内側などに、濡れる程度に散布
- d) セルフクリーンプログラムでは、吸引口に重りのついているアイロンスプレーをお勧めします

iii. 散布剤について

a) 通常、認可されている有機リン剤（スミチオン、サフロチンなど多種類ある）を用いる

b) 中性洗剤、アルカリ性洗剤（マジックリンなど）を利用する方法もある

- 基本的にスミチオンとサフロチンをお勧めします
- 最もお勧めしたいのは、中性洗剤、アルカリ性洗剤（比較的安全で、かなり効果がある）

効果のある理由

ゴキブリの呼吸器官（気門）を泡で塞ぎ、窒息死させる

アルカリ性洗剤の方がお勧めですが、使用に際しては、塩素系除菌剤を使用していないことを確認することが絶対条件

※ 危険注意事項

酸性除菌漂白剤（ハイターやブリーチなど）を撒いている場所にマジックリンなど、アルカリ性洗剤を撒いては大変危険

有毒な塩素ガスを発生する

アルカリ性洗剤を使用するときは、

- **酸性漂白除菌剤を使用していないこと**
- **酸性漂白除菌剤を十分水で洗い流してあることを必ず確認**

iv. 散布剤の効果の特徴

- a) 残効性（効果が長く続く）
- b) 「チャバネゴキブリの抵抗性の強さ」と、「清掃・洗浄の管理状態」により決まる
- c) 効果がない場合、清掃状態の確認改善や散布剤の変更が必要

v. 薬剤の製剤について

- a) 殺虫剤は油剤、粉剤、乳剤、マイクロカプセル剤（MC 剤）など種々の製剤がある
- b) セルフクリーンプログラムでは MC 剤をお勧めします
理由
 - 値段は高価ですが、薬効期間が 2 ヶ月程度と長期間継続
 - 乳剤などとは異なり、散布した跡が白く残りづらい

③ ベイト剤処理

i. ベイト剤について

- a) ゴキブリを誘引して毒餌を食べさせ殺虫する駆除方法
- b) よく知られているベイト剤はコンバットやホウ酸団子
- c) 殺虫有効成分はヒドラメチルノン、ホウ酸、フィプロニル等

ii. 処理方法

営巣可能性の高い場所に配置

※ 嚴重注意事項

- ベイト剤使用に際しては、ベイト剤の上に絶対にスプレー（通常ピレスロイド剤）をしてはいけないこと

- 理由

ゴキジェットプロなどの薬剤（ピレスロイド剤）は忌避効果（フラッシング効果、ゴキブリが嫌い、逃げる効果）を持つ薬剤であるため、引き寄せて食べさせ殺虫するベイト剤の誘因効果がなくなってしまうため

iii. ベイト剤使用に関する補足説明

- a) このセルフクリーンプログラムでは、業者では主流のベイト剤をあえて中心的な駆除手段としていません

理由

(a) 営巣箇所への的確な処置技術が必要で、難しい技術であること（技術習得には、様々な現場での実務経験が必要）

(b) 近年、新しいベイト剤が開発されているが、ベイト剤に対するチャバネゴキブリの抵抗性が強くなってきていること

b) ベイト剤は仕上げ剤として使用

このセルフクレンジングプログラムの特徴

c) ゴミはベイト剤の効果を著しく減らす

ここでも徹底的な清掃が重要

2) 5S 対策

- ① 自社の目標・目的に向けた仕組みを創る
- ② チェックリストを作成
- ③ 責任の所在を明確にする
- ④ スタッフ一人ひとりのモチベーションが高まるようにする

3) 構造に課題のある場所の改善方法

- ① 薬剤の届かない場所の構造を改善
 - i. (閉鎖) ゴキブリがその中から出られなくする
 - コーキングで塞ぐ等
 - ii. (開口・適度な隙間の作成) 薬剤が届くようにする
 - 収納棚やテーブルなどを少しずらす等

② 清掃の難しい場所

- i. (できる範囲で実施) できる限りゴミを除去する
- ii. (区画・閉鎖) ゴミが入らないようにする
 - 粘着テープやコーキング等で塞ぐ
 - 駆除に極めて有効

【 第六回音声セミナー 】

～ 駆除作業実施 ～

準備完了！

駆除作業を始めましょう！

A 駆除を成功させるために！

多忙を極めて清掃ができなかったとしても、それは人の都合！
人の都合はゴキブリ、ねずみに通用しません！

成功の条件

- 整理・整頓・清掃で生息環境をなくし
- 薬剤処置を徹底的に一匹もいなくなるまで
- 必要により構造改善も
- 粘り強く取り組むこと

B 店舗構造の重要性について

どうしてもうまくいかないとき

最大の原因は構造

店舗を造る前に、

- ゴキブリが巣を作りづらい構造（ゴミが溜まりづらい構造）
- 掃除し易い構造
- 無用な穴を開けたままにしない

をしっかりと確認！

そのような構造の店舗創りをしなかったこと

➤ 最大・根本の原因

- 人件費を削減しながら
- ゴキブリもねずみもでない
 - そのような構造の店舗創りが防虫・防その大前提

※ 店舗構造と防虫防そ（防除）について

- ◆ 昨今、人件費削減・スタッフの削減が普通
- ◆ 一方、清掃困難な店舗構造での営業
 - 清掃等の時間がない

食品衛生環境の保全 と 人件費削減の両立 が必要

その最大の対策 ⇒ 店舗構造の改善

- ① いかにか、ゴミが溜まらないようにするか？
- ② いかにか、掃除が効率よくできるようにするか？
- ③ いかにか、ゴキブリやねずみが侵入せず、営巣できない構造にするか？

一方で、

- ① 店舗建設期間の短縮
 - 新店営業開始日の早期化
 - 一日も早い投下資金の回収

② 店舗建設費の削減

- 新店開設・新装開店投下資金の軽減化

という課題

しかし、

ゴミが残っていては駆除ができない

隙間があっては薬剤も届かず駆除できない

従って

- ① 食品衛生環境の保全対策
- ② 建設コスト削減・営業開始日の早期化

という、相反する課題は

① 建設コストとしてのイニシャルコストの若干の増加

⇒ 建設日数の若干の増加

- 営業開始日の若干の遅延

⇒ 建設費の若干の増加

と

② 営業開始以降のランニングコスト・リスクの継続的増加

i. 防虫防そコスト

⇒ 不良な環境下での継続的・永続的成本

a) コストを掛けながら、生息している状態の継続

b) 異物混入リスク・食中毒リスクの高い状態の中で
の営業の継続

ii. 整理・整頓・清掃の困難な作業環境

a) オペレーション効率の低い環境

b) イライラ感（精神衛生上良くない状態）の中での
作業のもたらす非効率性

⇒ 利益・売上の減少要因

①と②の 選択の問題

と 言い換えることができる

要 諦

- イニシャルコストが多少かかっても
- 快適に、効率よく、営業して、
 - 労働エネルギーを創造的エネルギーに傾注
- 人時生産性を高め
 - 利益の増大を図る
- お店を長く、大切に、快適に使い
 - 店舗生産性を高める
 - ⇒ 店舗コストを低減する

C 究極の駆除方法

セルフクリーンプログラムは、最も理想的な駆除方法

駆除は業者任せではできない

最低限、徹底的な清掃が必要

薬剤処置よりもゴミのないことの方がゴキブリ駆除には有効

- より効率的に作業できる構造
- 正しい駆除方法による管理
 - 経済的
 - 最も効果的

※ 理想的な防除管理

安いコストで、良好環境を維持すること！

- 営巣・生息のない状態のときから
- モニタリング・食品衛生環境調査を実施
 - 良好状態の維持のための管理

D これから店舗を創る方へ

作業効率の良い店舗創り

をお勧めします

1. 食品安全と防除をも考慮して店舗構想を練る
2. 食品安全・防除仕様の設計・見積もりを依頼する
3. 施工状態をチェックする
 - 1) 施工の進捗状況に合わせて、タイミングよく
 - ▶ タイミングを外すとチェックできなくなる
 - 2) 竣工までチェックする
 - 3) 依頼通り確実に施工されているか

4) チェックについて

- チェックが甘いと食品安全・防除仕様から外れる可能性がある
- 施工状態のチェックを人任せにしない！
自身か、信頼のおける人にチェックを依頼する

4. これらの

結果は全て施主（自分自身）に跳ね返ってくる

以上でセミナーを終了致します。

～ 本テキストの使い方 ～

このテキストは印刷してクリアファイルに入れ、

確認しながら作業を行いますと大変便利です。

ご活用頂きお役に立てれば幸いです。

ご健闘をお祈りいたします。

太田有彌

サン コーポレーション

自己責任（本セミナー主催者の免責）について

本セミナー記載内容の実施に際して発生したいかなるトラブル、損害等につきましても、私、太田有彌・サン コーポレーションは一切責任をお受けしませんことを予めご承知の上にてご利用下さいますようお願い申し上げます。

著作権について

本書（セルフクリーンプログラム チャバネゴキブリ駆除 編）は著作権法上の保護を受けており、著作権は私、太田有彌（サン コーポレーション）に帰属致します。したがって、営利を目的とした本書のご利用は一切お断りいたします。全て著作権法の取り決めに則ったご利用をお願い致します。